



子ども虐待を防止するというメッセージが込められています。

11月は児童虐待防止推進月間です。

こどもたちが安心して、豊かな気持ちで育つことができるように、
家庭・地域全体で見守っていきましょう

児童虐待防止と対応講座

市では、児童虐待防止の取組として、島根県立大学出雲キャンパスとの共催で、毎年3回シリーズで講座を行っています。第1回の講座の内容の一部を紹介します。

講演

「家族理解」が「家族支援」である



漫画家、家族カウンセラー、立命館大学客員教授 團 土郎 氏

「家族理解」は誰にでもできる最大の援助
誰にでもできる最大の援助

現代は、児童虐待だけではなく様々な社会問題を抱えている。正しい子育てができる人ばかりではなく、正しくない子育てが起きてしまうこともある。家族が多々の問題を抱えていることを踏まえ、家族にとつとどんなことがしんどいか、家族のためにどんなことならできそうか、を考える必要がある。

「家族理解」は誰にでも可能で最大の援助である。問題に手をつける前に、まずは「家族理解」をすることが大切である。孤独で誰にも理解してもらえない人は苦しんでいる。何かを起すまで見て見ぬふりをしているのはよくない。話を聞いてくれる、分かってくれることが不可欠であり、分かってくれるのは専門家でもなくともよい。支援を求める人は答えを求めているのではなく、聞いてもらいたいという一息つける。

1
8
9
(いちはやく)
ちいさな命に
待たなし

地域のつながりをつくること

児童虐待に対し、地域住民として予防的にできることはないかと考えることが大切である。安心して子育てできる町を作るのが児童虐待を減らす王道ではないかと考える。

誰かのことを助けたいと思った時は、まずは挨拶で声をかけるようにしたり、子どもが泣いていたら声をかけに行ったりする。気になる人への声掛けは、「あなたのことを気にかけている、何かあったら言って」と言つのがよい。住んでいる地域で、できる範囲でやればよい。

(児童虐待を) 起こさなくて済んだ力の部分を見直さないと

児童虐待の問題は、起きてしまったことの背景に起きなかつたたたくさんの可能性が存在する。相談業務において起きた事象ばかりに焦点を当てていると、その人の持つ「起こさなくて済んだ力の部分」を見直さなくてはならない。今後伸びていく可能性にもふたをすることにつながる。弱さややりきれなさをたくさん抱えながらも崩れてしまわない力を持つ家族に対して、その力を信じられるか、力を引き出せるかが重要である。

里親になりませんか？

10月は里親月間です

さまざまな事情により家族と一緒に生活することができない子どもたちがいます。里親とは、こうした子どもたちを自分の家に迎え入れ、家庭的な環境の中で愛情を込めて養育して下さる方です。

～子どもたちのために、あなたにもできることがあります～

里親には、主に、子どもが親と一緒に生活できるようになるまで養育する「養育里親」と、養子縁組により養親となることを希望する「養子縁組里親」があります。養育里親の場合は、長期の養育だけでなく、月に1～2回程度、主に土日や学校の長期休み中に数日間、といった短期間の家庭生活体験をさせて下さる人も求めています。



里親になるためには特別な資格は必要ありませんが、必要な研修を受講すること、里親を希望する人とその同居人が欠格事由等に該当しないこと、経済的に困窮していないことが必要です。

里親制度に関心がある人はお問い合わせください。出雲児童相談所 ☎21-0007

☎ 児童虐待かもと思ったらすぐにお電話ください。

児童虐待は社会全体で解決すべき問題です。
あなたの1本の電話で救われる子どもがいます。

連絡(通告)は
支援の
始まりです

子どもや保護者にこんなサインはありませんか？

子どもについて

- いつも子どもの泣き叫ぶ声や保護者の怒鳴り声がある
- 不自然な傷や打撲のあとがある
- 衣類やからだがいいつも汚れている
- 表情が乏しい、活気がない / 落ち着きがなく乱暴である
- 夜遅くまで1人で家の外にいる

保護者について

- 小さい子どもを家においたまま外出している
- 子育てに関して拒否的・無関心である / 強い不安や悩みを抱えている
- 子どものけがについて不自然な説明をする
- 地域などと交流が少なく孤立している

虐待かもと思ったら



(お住まいの地域の児童相談所につながります)

虐待の
通告
相談

出雲児童相談所 ☎21-0007
出雲市子ども政策課
子ども家庭相談室 ☎21-6604
児童相談所全国共通ダイヤル ☎189

※一部のIP電話からはつながりません。※通話料がかかります。 ※連絡は匿名で行うことも可能です。連絡者や連絡内容に関する秘密は守られます。

児童虐待防止啓発活動 | N ゆめタウン出雲

11月2日(土) 11:00~12:00
チラシ配布等の啓発活動

11月1日(金)~12月1日(日)
連絡通路にてパネル展示

おたすね / 子ども政策課 子ども家庭相談室 ☎21-6604



子どもとふれあう時間を大切に!

いずも 11/10(日)~24(日) 子どもウィーク

市では、子どもとふれあい、子どもを育成する大人の役割の大切さを認識するとともに、子育て環境の充実を図る期間として、11月の第3日曜日を中心に「いずも子どもウィーク」を設けています。

今年のウィーク期間は、11月10日(日)から11月24日(日)です。この機会に、地域の行事に積極的に参加したり、家族みんなで食卓を囲んだりするなど、子どもとのふれあいの時間を大切にしましょう。

子ども・若者支援講演会

『心がかぜをひくとき—“安心感”と自立—』

- 講師 / 吉村 春生氏
(西九州大学非常勤講師・臨床心理士)
- とき / 11月2日(土)
13:30~15:30(受付 13:00~) **入場無料**
- ところ / 出雲市役所1階 くまびき大ホール
- 申込方法 /
E-mailまたはFAXで①氏名 ②住所 ③電話番号
④人数を記入のうえ下記まで送付してください。

ぜひ
ご来場
ください!

出雲市青少年育成推進大会

~みんなで見守り みんなで育てよう
出雲の子どもたち~

- とき / 11月17日(日)
13:30~15:30(受付 13:00~)
- ところ / 出雲市役所1階 くまびき大ホール **入場無料 申込不要**
- 内容 / ○青少年育成者功労表彰
○パネルディスカッション
『地域の明日(みらい)~若者の成長は地域の成長~』
<出演団体>・薦巣地区青少年育成協議会
・平田高等学校 JRC部のみなさん

申込み・おたすね / 市民活動支援課 ☎ 21-6297 FAX 21-6299

メールアドレス : gakushu@city.izumo.shimane.jp